

フージャースコーポレーション

今期は経常利益2.4倍に

マンションデベロッパーのフージャースコーポレーション(8907)の収益が急拡大する。2012年3月期は売上高205億円、経常利益46億円と、ともに前期の2・4倍になる見通し。自社分譲物件の引き渡しは今期は560戸(前期は133戸)に増加する。販売が好調なことから広告宣伝費など販売経費を予算以下に圧縮でき、経常利益は従来予想の35億円を上回る(1月20日に上方修正)。

来期については自社分譲物件の引き渡しは900戸を計画し

フィービジネスも強化

ている。すでに仕入れは完了。販売も順調で、今年3月末に50%の契約を終了させる方針。このため、来期は売上高が300億円、経常利益は過去最高である55億円(08年3月期)に近い数字が想定される。

同社の営業担当者は女性の比率が40%と業界の中では高く、企画・販売に女性の目線が生かされていることが強みになっている。来期引き渡しの自社分譲物件では、「グランセレッソ横浜戸塚」(317戸)などがあり、販売は順調だ。

また、フィービジネスにも力を入れ、収益のすそ野を広げている。東京・三田の高層マンション「カテリーナ三田タワースイート」を投資ファンドから購入した。賃貸契約が終了した物件から分譲住宅として販売する。「ザ・レジデンス白金スイート」は老人ホームだった物件を取得してシニア向け分譲マンションとして販売している。こうした販売代理などのフィービジネスや、ストックビジネス(マンション管理など)で一般管理費をカバーする収益構造を目指す考え。

欲しかった暮らしを、しよう。